



# 八幡小だより

北九州市立八幡小学校  
校長 田頭 麗宏



## 雲遠き塔に上りて春めきぬ 飯田 <sup>だこつ</sup> 蛇笏



先月末は、短期間に気温が大きく変動しました。テレビの天気予報を見ていると、気象予報士の方が「一週間で季節が3ヶ月行き来する」と解説していましたが、まさに「三寒四温」という言葉通りと感じられたのではないのでしょうか。学校に「塔」はありませんが、4階から窓の外を見ると本格的な春の訪れが伝わってくるようになりました。

さて、3月17日（水）に、本校第140回卒業証書授与式をとり行います。コロナ禍の中、例年と比べ最上級生として「目立つ」活躍の場が制限されましたが、日々の生活で「八幡の当たり前」を守り、全校児童をよくリードしてくれた49名の卒業生たち。元気に、また落ち着いて日々の学校生活に取り組むその姿は、学校全体のよい雰囲気づくりに大きな影響を与えてくれました。その門出を、在校生や6年生保護者の皆様とともに、温かい拍手で祝いたいと思います。

一時期に比べ、新型コロナウイルス新規感染者は減少し緊急事態宣言は解除されましたが、いわゆる「リバウンド」はいつ起きてもおかしくないと専門家がコメントしていました。卒業証書授与式をはじめ大切な学年のまとめの時期を迎えます。ゆるみなく健康管理をよろしく願いいたします。学校でも留意いたします。



### 新年度に向けて「助走」のスピードが増してきました

給食委員会



放送委員会の6年生の「私の放送は今日が最後です」というアナウンスを聞くと、毎年のことですがあらためて寂しさを感じます。しかし、巣立つ子どもがいるとともに、しっかり後を引き継ぐ子どももいます。委員会活動に限らずさまざまな場面で、学校生活を支えたり潤いを与えたりする子どもたちの活動のバトンタッチが行われてきています。

3年生クラブ活動見学



委員会活動には、4年生が「見習い」として参加しています。5、6年生がそれぞれの委員会の活動内容を4年生に伝えながら一緒に取り組んでいる姿がよく見られます。また、4年生以上の子どもたちが異学年で一緒に活動するクラブ活動を3年生が見学し、来年度のイメージを高めることができました。同様に、4年生以上の学級代表等で学校生活に関する話し合いを行う代表委員会活動にも、3年生の学級代表が参加しました。進行は、5年生が担いました。

代表委員会



この時期は、「新年度のための助走期間」と言えます。4月によい学校生活のスタートを切るために大変重要だと考えられます。日々の学習のまとめとともに、新年度に向けた意欲が一層高まるような励ましの声かけをお願いします。

**校庭の遊具がきれいになりました**

コロナ禍の中でも、休み時間になると子どもたちは元気に外で遊んでいます。今年度、学校校務員が遊具のペンキ塗りを行いました。少し使えない時期がありました。少し使えない時期がりましたが、完成すると色鮮やかな遊具に子どもたちは大喜びでした。サビ止めにもなり、安全面からも有効となります。



### 学校アンケートへの回答 ありがとうございます

先月実施した「教育活動に関するアンケート」へのご協力、ありがとうございました。初めて「電子申請システム」を使用しましたが、多くの方にご回答いただき、学校自己評価の参考にさせていただきました。まもなく、集計結果をお伝えいたします。